

第1号議案

令和7年度 事業報告書

学校法人 宮崎学園

大阪ペピイ動物看護専門学校

令和7年度 事業報告書

令和7年度スローガン

常に、創造的に行動する

継続が大切だと言っても、それが「同じことを繰り返す」ことであってはならない。継続と反復は違う。昨日と同じことを漫然と繰り返すのではなく、今日より明日、明日より明後日と、少しずつでいいから、必ず改良や改善を付け加えていくこと。そうした「創意工夫する心」が成功へ近づくスピードを加速させていく。

1. 概況

愛玩動物看護師の国家試験は令和7年度で4回目となり、本校で所定のカリキュラムを受講することによって受験が可能となる2年目の学生となりました。

昨年の第3回国家試験では100%合格を達成し、今年も同様の成果を目指して取り組んできましたが、結果は惜しくも合格率98%(3年生109名中2名不合格)となりました。とは言え、受験者全体の合格率が前年の88%から76%へと下落する中、全国の大学・専門学校の中では、合格者数・率ともにトップクラスを維持することができました。

入試についてはAO入試・一般入試・指定校推薦合計で延べ156名の受験生が集まり、今年も例年と同じ125名の新入生を確保することができました。

また、全校生徒数についても、令和7年度の1年生の休退学者が減少し、8年度は期初の予測通りでスタートすることができました。

一方、7年度のオープンキャンパスで、8年度の入試を受けたいと思っている高校2年生が昨年に比べて大きく減少しています。(表1参照)

オープンキャンパスのプログラム等の見直しに取り組んできたものの、その効果は今のところは限定的で、今年度の受験生の減少が懸念されています。

また、一般入試の人数について、年々受験者数が減少しています。(令和7年度は11人)

他校の入学者の確保が進んでいることも一因であると考えられます。

なお、高校1年生(令和9年度受験予定)で本校を受けたいと言う生徒は、数・率ともに昨年を大きく上回っていますが、未だ絶対数は少ないため、先行きは不透明です。

就職に関しては、昨年度は動物病院への就職希望が再び増え、全体の就職率も100%となりました。

以上のように、7年度の主要な取り組みについては概ね良好な結果となりましたが、受験生の確保という点で、8年度以降に大きな課題を残すこととなりました。

表1 オープンキャンパス2025年度新規名簿獲得数

	高3 + 社会人(25年度受験)				高2(26年度受験予定)				高1(27年度受験予定)			
	参加者	前年比(%)	出願したい	前年比(%)	参加者	前年比(%)	出願したい	前年比(%)	参加者	前年比(%)	出願したい	前年比(%)
～25年3月	265	102	103	101	38	76	6	75	0	0	0	0
4～10月	101	81	58	70	123	83	32	78	50	200	15	300
11～26年3月	0	0	0	0	63	97	35	67	23	177	9	900
年度累計	366	95	161	86	224	85	73	72	73	192	24	400

2. 行事日程について

体育祭については、万博の開催によって会場である舞洲アリーナまでの交通手段の確保が難しくなったため、開催場所を大阪城公園に、内容もウォーキングラリーに変更して、日程は予定通りで開催しました。

就職関係では、徐々にセミナー等の日程を前倒ししています。また、1年生のキャリアデザインセミナーを開催しました。

保護者向け就職セミナーは、参加希望者の減少により、7年度から中止しました。

それ以外の日程については予定通り実施しました。

2025年

4月5日 入学式

6月7日 ウォーキングラリー

6月23日・30日 AO入試(1次)

7月5日 キャリアデザインセミナー(2年生①)

7月12日 キャリアデザインセミナー(2年生②、3年生⑤)

7月15日 キャリアデザインセミナー(2年生③)

7月15日～ 夏休み(3年生は動物看護総合実習～29日)

7月17～30日 動物看護総合実習(3年生)

8月26日～ 授業再開、期末試験

9月24・25・26日 アニマルハーモニー見学

9月27日 教育振興会総会、教育懇談会

9月30日 キャリアデザインセミナー(2年生④、3年生⑥)

10月4日 就職セミナー

10月20日 指定校推薦・一般入試

2026年

1月10日 キャリアデザインセミナー(3年生⑦)

2月15日 愛玩動物看護師国家試験

2月18・19日 就職セミナー

2月19日～3月4日 動物看護総合実習(3年生)

3月中旬 大分研修

3月19日 卒業式

3. 重点実施項目について

1) 愛玩動物看護師資格試験の合格率向上

第4回国家試験では、受験者全体の合格率が前年の88%から76%へと下落する中、全国の大学・専門学校の中では、合格者数（3年生109名中107名合格）、合格率（98%）共にトップクラスを維持することができました。

国家試験対策プロジェクトを立ち上げ、模擬試験の結果を非常勤講師も含めて共有化し、直前対策を従来以上に充実させました。

前年の結果には及ばなかったものの、再び100%合格の達成に向けた体制が強化されたと考えています。

2) 学生の学力と意欲の向上による離脱者の低減

1年生の休退学者がようやく期初予測を下回り、全校でも期初予測通りの学生数となりました。昨年来、授業についていけずに途中リタイヤする者が増えていましたが、ようやく1年生の減少という問題に歯止めがかかったこととなります。

1年生対象の基礎学力講座の開講に加え、入学前の合格者に対するプレスクールの大幅な刷新を行ったことによる効果が顕われてきたものと考えています。

ただし、3年制となってから2年途中での脱落者が増加しているため、勉強だけでなく、メンタル面も含めたフォローを強化していきたいと考えています。

表2 学年別全校学生数

	令和7年度			令和8年度		令和9年度
	期初	最終予測	実績	期初	最終目標	期初予想
1年	125	115	117	125	117	125
2年	110	107	104	118	115	117
3年	109	108	109	104	103	115
合計	348	330	330	347	335	357

3) 就職決定率100%

令和7年度の卒業生109名の内107名が就職を希望し、全員内定を獲得しました。また、就職先の内訳としては、動物病院が105名となり、残り2名についても動物関連に就職が決まっています。前年度は、卒業生101名中就職希望者が94名と少ないこともあり、卒業生全体から見た動物病院への就職の割合が9割を切っていましたが、今年は例年の傾向に戻りました。

学校の授業における実習が学生にとっての自信につながり、病院からもそれが高く評価された結果であると考えています。

4) その他教育力と学生指導力の向上・PEPPYグループとの連携など

① 1月27日、菊水先生の講演会を(株)PEPPYと合同で実施しました。

今後も、教職員・卒業生などを対象に、講演会やセミナーを(株)PEPPYと共同で開催していきたいと考えています。

- ② 教員のwebセミナーやシンポジウム参加が、年間で20件(前年は11件)となりました。
- ③大阪府動物愛護管理センターから譲渡された犬・猫に、ペット情報を記載したカードをお配りすることとなりました。

情報カードとカードケースのデザインは本校の学生が、製作は(株)PEPPYが担当しました。

5) 学生の動物看護師としての価値向上

- ①学生に対して外部イベントの開催情報を周知し、ボランティア参加の募集を行うことで、社会性を持った活動を体験してもらう機会を提供しました。

(参加実績)

9.21 大阪のつどい 17名

10.5 猫の譲渡会(定員3名) 3名

10.19犬・猫の譲渡会(定員3名) 2名

11.30 猫・うさぎの譲渡会(定員5名) 5名

2.22猫の譲渡会2026春が来る(定員3名) 2名

- ②人間性を高めるセミナーとして、例年通り特別授業として、1年生に「未来の命の授業」、2年生に「命の授業パートII」(どちらも今西乃子先生)と、日本ライトハウス職員で本校の卒業生である稲増桃萌氏による「盲導犬訓練所の活動について」を開催しました。